

プラスマLifeさが

～Plastic Smart Life さが～

マイクロプラスチックが生態系へ与える影響が世界的に危惧されるなど、プラスチックごみの削減は喫緊の課題です。

佐賀の豊かな自然を未来へつなぐ「森川海人プロジェクト」に取り組んでいる佐賀県では、すべての県民がプラスチックごみ問題に対する理解を深め、主体的にプラスチックごみ削減に取り組んでいくことを目指す「プラスマLifeさが」を県民運動として展開しています。

一人ひとりがプラスチックスマートな生活を心がけることで、かけがえのない佐賀の自然を次の世代へつないでいきましょう。



R4.4.24波戸岬ビーチクリーンアップでのキックオフ(アクション宣言)の様子

県民運動としての皆さまへのお願い

一人ひとりの自主的な行動が広がるように、皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

県民

○3R+Renewable※1を意識したライフスタイルの実践

○県内一斉ふるさと美化活動への参加 など

行政

○情報の発信

○県・市町の率先行動

○公共調達における再生プラスチック使用優先購入(グリーン調達) など

企業

○チームプラスマさがへの登録

○製品の設計、製造での配慮

○使い捨てプラスチック製品の提供削減

○社内での取り組みの徹底 など

CSO※2

○さまざまな地域活動、情報発信 など

※1 3R+Renewable…リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再生)+リニューアブル(再生可能資源への代替)

※2 CSO…Civil Society Organizations(市民社会組織)の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称しています。

プラスチックは えらんで 減らして リサイクル プラスマLifeさがHP





森川海人っ

『プラスマ Life さが』アクション宣言
～ Plastic Smart Life さが～

佐賀県は、有明海と玄界灘という二つの海に面し、豊かな自然に満ちています。

山や川が身近にあり、森川海の恵みを受けながら暮らしている私たちは、この素晴らしい「佐賀の自然」を次の世代へと引き継いでいかなければなりません。

現在、不用意に捨てられたプラスチックごみが川を通じて海に流れ込み、自然界に深刻なダメージを与えており、大きな問題となっています。

一方で、安く使い勝手のよいプラスチックは、私たちの生活に欠かせないものとなっており、急に使用を禁止することは困難です。持続可能な循環型社会を実現するためには、今の生活を維持しつつ、上手にプラスチックと付き合い、減らしていくことが大切です。

この考えのもと、佐賀県は、県民・企業・CSO・市町などが一体となって、使い捨てプラスチックの削減や自然に優しいプラスチック代替品の活用など、一人一人が自ら考え行動していくことをここに宣言し、私たちの宝である「佐賀の自然」を守っていきます。

2022年4月24日

佐賀県知事

小畑 義